

# グルジア政治・経済 主な出来事

【2014年7月14日～2014年7月20日】

[当地報道をもとに作成]

平成26年7月23日

在グルジア大使館

## 主な動き

### 1. アブハジア・南オセチア

#### 【アブハジア】

##### ▼「大統領選挙」の候補者が確定(14日)

・「アブハジア中央選挙委員会」は、8月24日に予定されている「大統領選挙」の候補者4名の登録を発表。アスラン・ブジャニア「保安局長」、レオニド・ザプシバ「元内務大臣」、ミラブ・キシマリア「国防大臣」、ラウル・ハジンバ「アブハジア国民統一フォーラム代表」の4名。  
・ベスラン・アシバ「元副首相」は、立候補を表明したが、「言語委員会」が実施したアブハズ語の知識を問う試験に合格できなかった。大統領選挙の候補者にはアブハズ語の知識が要求される。

### 2. 外 政

#### ▼マカリー・ニューゼーランド外務貿易大臣がグルジアを訪問(14日)

・ニューゼーランドの外務貿易大臣の初の訪問。「マ」外務貿易大臣はマルグヴェラシヴィリ大統領、ガリバシヴィリ首相、ウスパシヴィリ国会議長、パンジキゼ外相と会談。「パ」外相との会談後の記者会見で、「マ」外務貿易大臣は、ニューゼーランドとグルジアは太平洋地域において協力するとして、「太平洋にはこの地域の情勢に大きな関心を持つ小国が多い」と述べた。

・「パ」外相と「マ」外務貿易大臣は、グルジア外務省とニューゼーランド外務貿易省との間の協力に関する合意に署名した。

#### ▼グルジア軍部隊がアフガニスタンのヘルマンド州での活動を終了(15日)

・ISAFの枠内でのアフガニスタン南西部ヘルマンド州での4年間の活動を終了。カブール市に配備されている約50名の兵士およびカンダハルの特殊山岳部隊は活動を継続している。また、2014年にISAFが終了して以降も、グルジア軍の大隊1個がアフガニスタンで活動を継続することになっている。

・ヘルマンド州ではこれまでに犠牲者29名、負傷者435名を出した。

#### ▼欧州人権裁判所がグルジアの「集団犯罪対策法」の人権侵害を否定(15日)

・2005年にグルジア政府が制定した「集団犯罪対策法」により、2007年に犯罪集団の一員と見なされて7年の禁固刑を受けたアチャラ地方の男性が、人権憲章が禁じる「法的な根拠を欠く処罰」を受けたとして欧州人権裁判所に提訴していた。15日、欧州人権裁判所は同法の人権

憲章違反を否定する結論を下した。

・2005年に制定された際にも同法の規定が曖昧であるとの批判があったが、ガリバシヴィリ首相は、2014年初めに、同法の改正を行なわないと発言している。

#### ▼コプフ・オーストリア国会副議長がグルジアを訪問(16日-18日)

・ガリバシヴィリ首相、ウスパシヴィリ国会議長、パンジキゼ外相、国会議員らと会談。「パ」外相との会談では、国会間協力など、最近の二国間関係の動きを評価。経済、文化、教育の分野での協力を高める見通しについて議論。

・18日、コプフ・オーストリア国会副議長はグルジア国会でのEUとの連合協定の批准に立ち会った。

#### ▼ブルガリアとラトビアの外務大臣がグルジアを訪問(18日)

・ヴィゲニン・ブルガリア外相とリンケヴィチ・ラトビア外相がグルジアを訪問。ガリバシヴィリ首相、パンジキゼ外相およびペトリアシヴィリ欧州・欧州大西洋統合担当国務大臣が両外相と会談。また、両外相とマルグヴェラシヴィリ大統領、ウスパシヴィリ国会議長との会談も行われた。会談では、グルジアとブルガリアおよびグルジアとラトビアの間の二国間・多国間関係に係る幅広い問題について話し合われた。

・両外相は、グルジア国会でのEUとの連合協定の批准に立ち会い、演説を行なった。

#### ▼グルジア国会がEUとの連合協定を批准(18日)

・18日に行なわれた特別国会で、123票の全会一致で、DCFTAを含むEUとの連合協定の批准が承認された。

・マルグヴェラシヴィリ大統領、ガリバシヴィリ首相、各閣僚、ヴィゲニン・ブルガリア外相、リンケヴィチ・ラトビア外相、コプフ・オーストリア国会副議長、フューレ拡大・近隣政策担当欧州委員が国会で連合協定批准の採決に立ち会った。

・パンジキゼ外相によれば9月1日から「協定の8割」が暫定的に適用される。フューレ欧州委員は、国会での演説で、批准は協定の「迅速な暫定適用」への道を開くものであり、「発効後ただちにEUはグルジアからの輸入品に対する全ての関税を廃止する」と述べた。

・18日夜、ペトリアシヴィリ欧州・欧州大西洋統合担当国務大臣とフューレ欧州委員が、グルジアに対するEUの支援に係る覚書に署名。覚書によれば、EUはグルジアの民主改革を支援し、2014年～2017年の間に330百万～410百万ユーロを拠出する。

#### ▼ウクライナでのマレーシア航空機の墜落に関する外務省声明(18日)

・18日にウクライナ東部でマレーシア航空のボーイング777型機が墜落した事故を受け、グルジア外務省は、「墜落がウクライナにおける武力紛争の破滅的な結果であることは間違いない」として、原因の究明の必要性を強調し、犠牲者を追悼する声明を発表。

### 3. 内政

#### ▼市・地区の新議会が発足(14日)

・14日、全国71の市・地区議会中、トビリシ市議会を含む63議会の初会合が行なわれた。トビリシ市議会では、与党連合「グルジアの夢」所属のギオルギ・アリベガシヴィリ氏(55歳)が新しい議長に選出された。

・71議会中、66議会で与党連合「グルジアの夢」が過半数を占める。

#### ▼キツマリシヴァリ氏が死亡(15日)

・「キ」氏(49歳)は元駐ロシア大使(2008年)。トビリシ市の自宅のガレージの自家用車のなかで、ピストルの弾丸を頭部に受けて死亡しているのが発見された。ピストルは「キ」氏自身のものであり、検察は自殺の可能性も考えられると発表。

・「キ」氏は1994年にTV局「ルスタヴィ2」を創設。2008年まではサーカシヴィリ元大統領と近い関係にあったが、2010年から2011年にかけて野党指導者の一人として活動。2014年6月の統一地方選挙ではルスタヴィ市長に立候補。12%の票を獲得して3位に終わった。

・20日、「キ」氏の遺体はTV局「ルスタヴィ2」のビルから送り出され、サブクタロの墓地に埋葬された。

### 4. 経済

#### ▼対外国家債務が減少(14日)

・財務省の発表によれば、6月末の時点の対外国家債務は4,082百万ドル(うち政府債務が4,017百万ドル)。5月末より約26百万ドル減。

#### ▼2014年5月の工業製品生産者物価指数(15日)

・前月比0.2%、前年同月比3.7%上昇。分野別では前年同月比で製造業4.6%上昇。

#### ▼ポティ=バクー間の鉄道コンテナ便が再開(15日)

・アゼルバイジャン鉄道と、グルジア鉄道の子会社である「トランス・コーカサス・ターミナル」の合意により、長期間停止されていたポティ=バクー間の鉄道コンテナ輸送が再開された。ポティを毎週火・土曜日に出発し、24時間以内にバクーに到着する。

・バフタゼ・グルジア鉄道代表によれば、今後数か月以内にアゼルバイジャンが港を整備し、ポティ=バクー=アルマティ間のコンテナ輸送が可能となる予定。

#### ▼BTC・BTEパイプラインの輸送量(17日)

・アゼルバイジャン国家統計委員会によれば、2014年上半期のBTCパイプラインの石油の輸送量は約1760万トン。前年同期比6%増。アゼルバイジャンの主要な石油パイプラインを通じた石油の輸出の75%を占める。

・2014年上半期のBTEパイプラインによる天然ガスの輸送量は31億m<sup>3</sup>。前年同期比48%増。

#### ▼2014年上半期の銀行セクター(18日)

・国立銀行の発表によれば、2014年上半期の国内の民間銀行21行の総利益は1億9243万ラリ。前年同期比25.8%増。上半期の銀行の納税額は約3415万ラリ。